

2007年5月14日



ニュースリリース

**「先進の3次元CADを実現した BeamPROP、FullWAVE、FemSIM ならびに GratingMOD、
DiffractMOD、BandSOLVE を含む RSoft Passive Component Design Suite Version 8」**

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝1-9-6)は、米国RSoft Design Group, Inc.(RSoft社)が開発しました光デバイス設計・シミュレーション・ソフトウェアRSoft Passive Component Design Suite Version 8の販売を2007年5月8日より開始いたしました。価格は125万円から、初年度販売見込み200本、主に光通信部品/通信機器メーカー、ファイバ/光半導体メーカー、WDM/SONET/SDH伝送装置メーカー、光関連研究機関、大学に拡販する予定。

最新の複雑なナノ・テクノロジーやシリコン・フォトニクス、フォトニック結晶を初めとする各種光部品や光システムの開発では生産性の向上、開発期間の短縮が不可欠であり、高機能な3次元CADシミュレーション・ソフトウェアが必須となっています。Passive Component Design Suite Version 8では、BeamPROP(BPM法)、FullWAVE(FDTD法)、DiffractMOD(RCWA法)、BandSOLVE(平面波展開法)、FemSIM(有限要素法)、GratingMOD(結合モード法)などの各種高機能ソルバを先進の3次元CADで統合し、高速かつ正確なシミュレーションならびに最適化がより簡単な作業で可能になります。

RSoft Passive Component Design Suite Version 8

- ・ モデルの4画面分割(X-Z、Y-Z、X-Yの各平面、3次元表示)による表示
- ・ 任意の方向からの立体視または投影図による3次元表示
- ・ 3つのモード(Solid、Transparent、Wireframe)による3次元表示
- ・ 3つの平面(X-Z、Y-Z、X-Y)で座標軸(Y、X、Z)の範囲を制限した表示が可能
- ・ 3つの平面(X-Z、Y-Z、X-Y)で3次元構造としての編集が可能
- ・ 解析領域などの情報をCAD画面上で確認可能
- ・ 一新された直感的でユーザ・フレンドリなGUI
- RSoft Passive Component Design Suite Version 8はWindows XP、Linux環境で稼働します。
- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社

住所: 〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話: 03-5484-6670 FAX: 03-5484-2288

URL: <http://www.rsoftdesign.co.jp/>

E-mail: akagi@rsoftdesign.co.jp

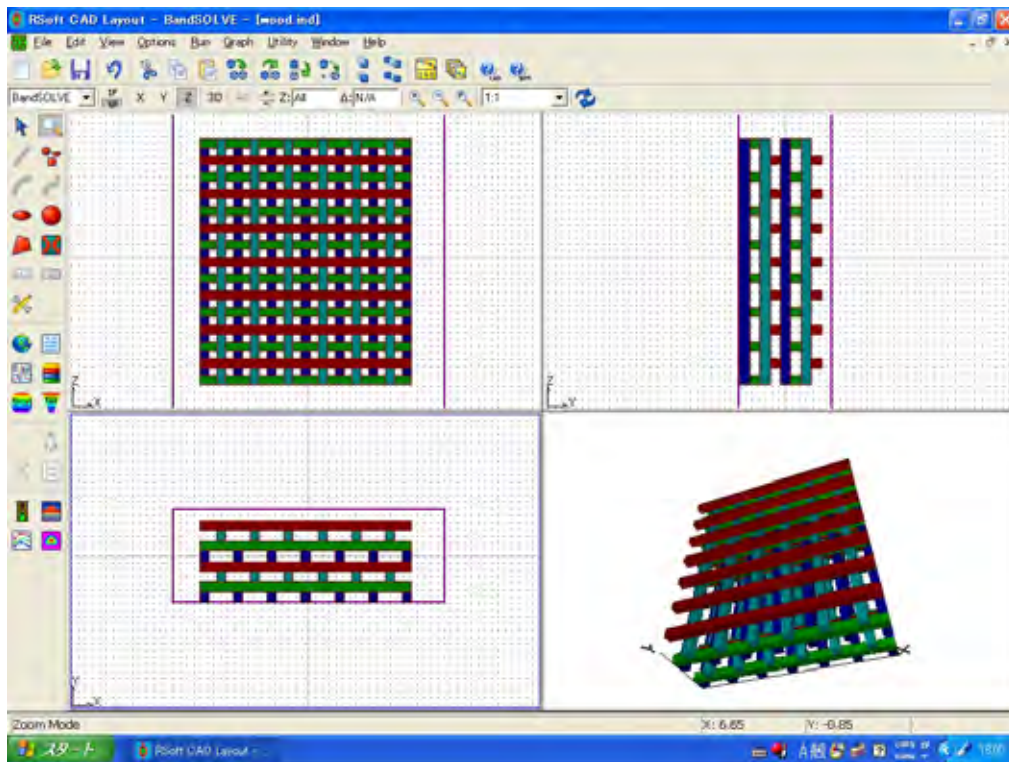


図 Version 8 による 3 次元 CAD 画面